

1. 議 事 日 程（6 日 目）

（平成28年那智勝浦町議会第 1 回定例会）

平成28年 3 月18日

9 時30分 開 議

於 議 場

日程第 1	議案第45号 林道小阪大野線災害復旧工事請負契約の変更について……………	350
日程第 2	議案第44号 町道の路線変更について（建設常任委員会審査報告）……………	351
日程第 3	請願受理番号平成28年 1 町立新病院に人工透析治療施設を設置するこ とに関する請願（新病院建設調査特別委員会 審査報告）……………	352
日程第 4	常任委員会報告……………	354
日程第 5	委員会所管事務調査継続調査要求……………	360
日程第 6	閉会中の継続調査要求……………	360
日程第 7	議員派遣について……………	361

2. 出席議員は次のとおりである。（12名）

1 番	荒 尾 典 男	2 番	左 近 誠
3 番	下 崎 弘 通	4 番	中 岩 和 子
5 番	石 橋 徹 央	6 番	金 嶋 弘 幸
7 番	曾 根 和 仁	8 番	引 地 稔 治
9 番	亀 井 二三男	1 0 番	津 本 ・ 光
1 1 番	森 本 隆 夫	1 2 番	東 信 介

3. 地方自治法第121条第 1 項により説明のため出席した者の職氏名（15名）

町 長	寺 本 眞 一	副 町 長	植 地 篤 延
教 育 長	森 崇	消 防 長	江 崎 光 洋
参 事 （総務課長）	城 本 和 男	教 育 次 長	下 康 之
総 務 課 国体推進室長	矢 熊 義 人	会 計 管 理 者	田 代 雅 伸
病 院 事 務 長	喜 田 直	税 務 課 長	久 葛 章 功
住 民 課 長	玉 井 弘 史	福 祉 課 長	大 江 政 典
観 光 産 業 課 長	在 仲 靖 二	建 設 課 長	橋 本 典 幸
水 道 課 長	関 正 行		

4. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名（3 名）

事 務 局 長	伊 藤 善 之
事 務 局 主 査	青 木 徳 之
事 務 局 副 主 査	疋 田 晋 一

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

〔４番中岩和子議長席に着く〕

○議長（中岩和子君） おはようございます。

再開に先立ち、傍聴者の方をお願いいたします。

傍聴に際しては、お手元の傍聴券に記載しております傍聴人規則を遵守し、議事の円滑な進行に御協力いただきますようお願いいたします。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

９時３０分 開議

○議長（中岩和子君） ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりでございます。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

日程第１ 議案第４５号 林道小阪大野線災害復旧工事請負契約の変更について

○議長（中岩和子君） 日程第１、議案第４５号林道小阪大野線災害復旧工事請負契約の変更についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

建設課長橋本君。

○建設課長（橋本典幸君） 議案第４５号につきまして御説明申し上げます。

〔議案第４５号朗読〕

林道小阪大野線災害復旧工事につきましては、平成２７年度那智勝浦町一般会計補正予算（第６号）で観光産業課長から説明させていただきました工事でございます。国庫補助対象の追加工事分の変更契約のお願いでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（中岩和子君） 質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 質疑を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 討論を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第４５号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第44号 町道の路線変更について（建設常任委員会審査報告）

○議長（中岩和子君） 日程第2、議案第44号町道の路線変更について（建設常任委員会審査報告）を議題とします。

建設常任委員長からお手元に配付のとおり議案審査報告書が議長宛て届いておりますので、局長から朗読させます。

○事務局長（伊藤善之君）

〔議案第44号報告書朗読〕

○議長（中岩和子君） 本件について委員長の報告を求めます。

2番左近君。

○建設常任委員長（左近 誠君） 議案第44号の町道の路線変更について御報告申し上げます。

3月15日午前中、委員会のメンバー6人中5名出席、1名は7番議員の体調不良であります。担当課、建設課、事務局。

木戸浦7号線の木戸浦444番地から橋ノ本137にかかる町道でございますが、JRの線路が通っており、現状、町道は存在しないと確認いたしました。

よって、当委員会は可決すべきものと決しました。

以上です。

○議長（中岩和子君） 委員長に対して質疑を許可します。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 質疑を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 討論を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

本件に対する委員長の報告は可決です。

議案第44号について、委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、本件は委員長報告のとおり可決することに決定いたします。

した。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 請願受理番号平成28年1 町立新病院に人工透析治療施設を設置することに関する請願（新病院建設調査特別委員会審査報告）

○議長（中岩和子君） 日程第3、請願受理番号平成28年1 町立新病院に人工透析治療施設を設置することに関する請願（新病院建設調査特別委員会審査報告）を議題とします。

新病院建設調査特別委員長からお手元に配付のとおり請願審査報告書が議長宛て提出されておりますので、局長から朗読させます。

○事務局長（伊藤善之君）

〔請願受理番号平成28年1 報告書朗読〕

○議長（中岩和子君） 本件について委員長の報告を求めます。

1 番荒尾君。

○新病院建設調査特別委員長（荒尾典男君） 町立新病院に人工透析治療施設を設置することに関する請願が東信介議員の紹介で平成28年2月25日、町議会議長宛てに提出され、3月11日の本会議におきまして新病院建設調査特別委員会に付託されました。3月16日13時30分より新病院建設調査特別委員会を開催、出席者は、全委員。紹介議員の東信介議員、担当課5名。

最初に、紹介議員である東議員の説明を伺いました。「公立の地域医療は赤字でもよい」、これに関して賛同し、紹介議員になったとのことでありました。

次に、担当課の請願に対する見解を聞きました。

請願の理由1に対して、建築単価の急騰により抜本的な見直しが必要となりました。県の地域医療再生計画、常勤医の確保やリハビリテーション科との連携性を考慮し、透析部門の患者数の減少や患者数の推計から、新病院建設に当たり、新たな投資を続けていくことは難しいと判断した。

請願理由の2に対して、災害時の施設の分散設置の必要性は指摘のとおりです。大規模な災害時は、空路により県外の安全な地域へ搬送し、受療を確保する必要があります。

請願の理由3に対して、経営見通しでは、20人弱が収支の分岐点と考えています。観光透析に関しては、常勤医が不在の中、受け入れは難しいとのことであります。

委員からは、経営的には透析の収益は黒字であり、新病院でも継続するとなると、患者様の数はふえる可能性がある。積極的な運営をすべきで、災害時の分散設置も重要。議会の決議を受けとめ、予算内での実施確認し、全員一致で採択することと決しました。

以上で請願についての報告を終わります。

○議長（中岩和子君） 委員長に対して質疑を許可します。

8 番引地君。

○8 番（引地稔治君） この町立病院の経営っていうのが今後那智勝浦町に大きく影響すると思うんですが、請願の中身の中にも、経営のためにも透析は有効だと、黒字に持っていけるようになっていう、請願の中身にあったと思うんですが、今の話では、20人ていうのが赤字黒字のライ

ンという説明だったんですが、その20人を確実に確保できるっていうのは難しいと思うんですけど、何人ぐらい、何年ぐらい、その黒字っていうんですか、その透析部門で黒字を生んでいく、ほんで今後とも生んでいけるのかどうかっていうのを少し説明ください。

○議長（中岩和子君） 1 番荒尾君。

○新病院建設調査特別委員長（荒尾典男君） 今後の患者数に関しては、病院のやり方次第であると思います。ただ、今までは、完全に黒字です。26年度は6,000万円以上、収支では、27年度は4,000万円以上となっております。

患者さんの数が減っているというのは、多分新たな人を受け入れてないという、やらないということがあって、皆さんも早目に抜け出してるというんか、よそへ移らないといけないという考えで移ってる方が多いと思います。平成26年度までは32人やったんです。それが、26年度の12月には24人になってます。方向さえ変えてしっかりやればふえる可能性もあると思います。

○議長（中岩和子君） 8 番引地君。

○8 番（引地稔治君） ありがとうございます。これの医師の確保が難しいということやったんですが、この医師の確保は、委員長に聞くようなことやないと思うんですけど、医師の確保っていうのは十分期待できるんですかね、町長。

〔「委員長に」と呼ぶ者あり〕

これ、でも委員長には聞きにくい。

○議長（中岩和子君） 委員長に質疑です。

1 番荒尾君。

○新病院建設調査特別委員長（荒尾典男君） 常勤医の確保は難しいと思います。ただ、今の形で継続というのは可能だということです。

〔8 番引地稔治君「今の」と呼ぶ〕

今の現状での確保。次の委員会報告でもありますけど、ほかのところで指導医を置いてやるところもあります。

〔8 番引地稔治君「現状維持はできるんでしょう」と呼ぶ〕

○議長（中岩和子君） ほかにございませんか。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 質疑を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 討論を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

本件に対する委員長の報告は採択です。

請願受理番号28年1について、委員長報告のとおり採択することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、本件は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

休憩します。

休憩中に各常任委員会を開催し、委員会報告の確認をよろしくお願いします。

まず、総務常任委員会を第1委員会室で、厚生常任委員会を第2委員会室で開催し、終了後、経済常任委員会を第1委員会室で、建設常任委員会を第2委員会室で開催してください。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時46分 休憩

10時17分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（中岩和子君） 再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 常任委員会報告

○議長（中岩和子君） 日程第4、常任委員会報告を行います。

総務常任委員長より報告を求めます。

3番下崎君。

○総務常任委員長（下崎弘通君） 総務常任委員会報告をさせていただきます。

先に総務常任委員会の視察報告をさせていただきます。

平成28年1月12日から14日までの2泊3日の行程で、静岡県地震防災センター、神奈川県大井町学校給食センター、寒川町総合図書館の3カ所を視察してまいりました。

参加人員は、委員6名と当局4名、事務局1名の合計11名でございます。

静岡県地震防災センターでは、防災担当専門官2人から施設内の案内と説明、地震防災に対する知識と対策について、防災に関する知事認証制度などの人材育成の研修内容と状況、体験施設や展示コーナーなどの研修を受けました。

大井町学校給食センターでは、町内の3幼稚園、3小学校、1中学校の給食を実施している給食センターの施設の概要と運営、調理に関する問題等の研修を受けました。

寒川町総合図書館では、図書館の設置運営について、資料の整理、管理についてなどの研修を受けました。平成27年3月の図書蔵書数は、約20万2,000冊、来館者数、26年度1年間で約27万人と、誰もが気軽に利用できる滞在型のすばらしい図書館研修ができました。

以上です。

次に、総務常任委員会の報告を行います。

3月15日、委員会を開催しております。出席者は、委員6人、担当課です。

所管事務調査、消防体制及び施設についてですが、消防長から、デジタル無線工事の完成検査が終わり、4月1日からの運用開始との報告がありました。

12月報告以降の火災件数は3件、4月から2月までの救急件数は946件、搬送人員は911名です。

前回以降のドクターヘリ要請件数はなし、救助活動は1件、小中学校防災学習は実施なし、防災対象事象は1回となっております。

次に、学校管理についてですが、教育委員会から、那智勝浦町教育大綱を2月に策定、総合的なテーマを「ふるさとの明日を担う人づくり」として定め、その具体的な取り組みについての内容説明がありました。

中学校での給食実施に関するアンケート結果の報告があり、全体的に給食の実施を求めていると判断、今後具体的検討を進めていくとのことです。

3月1日現在の児童生徒数の報告、平成27年度県学習到達度調査結果の報告と今後の対策、取り組みについての報告、いじめ・不登校対策、対応についてですが、12月現在のいじめ認知件数は22件、不登校は2月現在で5日以上の対象者は23名該当、その対応策についてといじめ防止等対策委員会などの組織を整えていくとの報告がありました。

人権教育総合推進地域事業、那智中学校区3校ですが、1年次研究発表会を1月29日に開催、ふるさと学習の推進として、ふるさと学習大賞を市野々小学校が受賞、下里小、宇久井中の海洋教育の取り組み、学校司書配置事業の状況について、防災教育では、第2回防災リーダー養成講座1月24日開催、J Rと連携した防災訓練事業を3月30日実施予定とのことです。

平成28年度の予定事業について、5項目の報告がありました。

生涯学習ですが、社会教育、青少年、地域ふれあいネットワーク関係、公民館、社会体育、文化財、図書館のそれぞれの事業計画の報告と今後の予定事業2件の報告がありました。

町有財産管理について、行財政改革について、地震防災対策についてですが、総務課より、平成28年1月末現在のふるさと納税収納状況は4,275件、6,369万8,869円の報告がありました。

先日の議会で可決となった人事評価制度について、人事評価の狙いと基本的な仕組み、実施スケジュール、予定等の資料に基づき説明がありました。

委員からは、適正な面談、公平な能力の評価と適正な配置、評価者への研修の実施等の意見がありました。

防災対策・地震対策ですが、地域部会においてそれぞれの地区で3月22日から実施していく、またJ R和歌山支社との共催による避難訓練は3月30日に天満地区で実施するとのことです。

以上、報告を終わります。

○議長（中岩和子君） 次に、厚生常任委員長より報告を求めます。

1 番荒尾君。

○厚生常任委員長（荒尾典男君） それでは、厚生常任委員会報告を行います。

先に厚生常任委員会先進地視察の報告から行います。

1月19日から21日にかけて、委員6名と各担当課4名の10名で先進地視察を実施、島本町で介護予防の取り組みを視察。

島本町は、大阪府の北東部に位置し、面積16.81平方キロメートル、総人口は3万8,000人で、サントリー山崎蒸留所がある町です。

島本町では、いきいき百歳体操を10年前から取り入れ、介護予防だけでなく、地域のコミュニティづくりにも成果を生み出しています。いきいき百歳体操は、米国国立老化研究所の運動の手引に準拠し、高知市でつくられた重量を変えられるバンドを手首や足首に着けて行う筋力強化のできる健康体操です。最初はいきいき体操を理解してもらい、次にサポーター育成講座で指導者を育成し、住民の方が主体となって、行政側は補助する形で運営しています。出席者全員で体験しましたが、かなりハードな体操でした。その効果は、健康で明るくなり、介護費用や医療費が格段に減っているというデータも出ているとのことでありました。

2日目は、備前市吉永病院にて病院経営と地域包括ケアシステムについて視察。

備前市は岡山県の東南部に位置し、総面積258平方キロメートル、人口約4万人、備前焼で有名な町です。

吉永病院は、黒字経営と地域包括ケアシステムを導入して実績を上げている日本でも数少ない公立病院です。前院長で、現在3つある市立病院の病院事業管理者をされている荻野先生の話拝聴しました。4万人の町に市立病院が3つあり、隣接する岡山市に2つの大学病院と5つの総合病院がある状況下での経営方針は、公立病院も地域内の優秀な企業であり、雇用の場であり、地域の活性化を担うと言い、救急を断らない、外来業務は午後9時まで、土曜診療も行っています。

また、病床数が50床と少なく、常時90%以上を保っているため、在宅医療を行っています。平成18年の新病院建設時に市の保健センターを併設し、11の介護施設を関連施設にして、地域包括ケアシステムに取り組んでいます。

荻野先生は、これからの医療は地域包括ケアをやって住民の信頼を得なければ生き残れないと語り、スタッフ一丸となって黒字経営に取り組んでいます。今まで年間1億円の利益を出し、現在は18億円近く保持し、市の財政にも大きく貢献しているとのことでありました。

3日目は、兵庫県佐用町にしはりまクリーンセンターを視察。

にしはりまクリーンセンターは、姫路市、たつの市、宍粟市、上郡市、佐用町の3市2町の広域事業です。平成15年8月ににしはりま環境事務組合を設立、平成25年4月1日から稼働、現在の処理人口は約9万5,000人、建設費は88億円、面積は3.2ヘクタール、24時間稼働で89トンの処理能力、また最大870キロワットの発電施設を設け、主に場内で使用、余った電気は関西電力へ売却、年間約1,700万円。買う電力が約3,000万円で、発電施設がなければ4,700万円の電気代が必要とのことでした。持ち込みごみは10キロ100円、建設費には環境省の循環型社会交付金3分の1を利用していました。

次に、委員会報告です。

3月3日10時30分より厚生常任委員会を開催しました。

この厚生常任委員会は、新議員になられた方々に、新クリーンセンター建設に向けてのこれまでの経過報告書の提出と説明を実施していただきました。

3月15日13時30分より厚生常任委員会を開催、病院事業について諸報告、職員の異動について、2月末日、看護師2名が退職、3月31日、医師3名、看護師1名、理学療法士2名退職、うち医師2名は非常勤で来てくださるとのことです。4月1日、医師2名、医療技術員5名、看護師1名、社会福祉士1名を採用予定とのことです。

ほかに、新病院改革プランの制定について、平成27年3月31日付で総務省より通知され、平成28年度中に策定の予定。

経営状況につきましては、累計で、入院収益8億5,000万7,794円で、1,827万8,527円の増、外来収益は5億3,982万6,945円で、2,774万4,524円の減、2,000万円弱の他会計繰入金により、病院事業収益は939万7,925円の増収であります。

次に、環境衛生について。新年度に向けて、単独浄化槽の撤去に係る費用に対する補助金、1基につき9万円、26年度、27年度の実績に比べ20基ほど減少の様子、普及に努めたいとのこと。

ごみ減量については、5月議会までに取り組む方向であり、現クリーンセンターは順調で、2月中のごみの量は少なく済んでいるとのこと。

新クリーンセンターについて、勝浦・太地の2町、勝浦・太地・新宮の1市2町の建設費の配分比較。同一条件では、勝浦は1市2町が一番安く、次に太地町との2町、そして新宮との1市2町の順とのこと、ほかの建設候補地に関しては、時間の面と費用の面で厳しいとの説明でありました。

福祉施設の実態につきましては、南紀園の入所状況で、特別養護老人ホームは、定員100名に対し現員95名、うち那智勝浦町51名、養護老人ホームは、定員50名に対し現員49名、うち那智勝浦町8名です。

介護保険制度の状況は、平成28年2月29日現在、人口1万6,221人、うち65歳以上、6,351人、高齢化率39.2%、人口は前年に比べ307人の減、高齢者数80人の増、高齢化率1.3%増、第1号被保険者数6,426人、昨年より85人増、要介護認定者数は60名の増の1,279名になっています。

次に、地域包括支援センターの状況につきまして、地域包括支援センターは高齢者の総合的な相談・サービスの拠点で、現在、主任ケアマネ2名、社会福祉士2名、看護師2名、ケアマネ2名の8名体制で運営。平成28年2月29日の時点の要支援認定者数が416名、2月のサービス利用件数は290件、平成27年度介護予防支援収入は1,294万7,260円となっています。

下里学童保育所はまぼうにつきましては、3月14日現在10名の申し込みで、太田小学校区から下里学童保育所への通所について、教育委員会と協議し、スクールバスの利用が可能となりましたので、太田小学校児童に対しても追加募集の案内を行っているとのこと。

以上で厚生常任委員会の報告を終わります。

○議長（中岩和子君） 次に、経済常任委員長より報告を求めます。

9 番亀井君。

○経済常任委員長（亀井二三男君） 経済常任委員会報告をいたします。

3月15日火曜日9時30分より、出席委員6名全員で、担当課に所管事務調査について説明を受けました。

初めに、商工業の振興について。第21回商工祭「南の国の雪まつり」が2月21日に開催され、町内外より3万2,000人と多くの来場者があり、会場周辺は大きなにぎわいを得たとのことでありました。

次に、観光振興及び施設整備についてであります。

1点目に、宿泊客の推移であります。さきの委員会で報告しました、10月は国体やふるさと旅行券の影響で大幅増となりましたが、ことしになり、前年比4.6%の微増となっております。前年比で見ますと、宿泊客は66万5,181人で、2万2,530人、3.3%の減であり、日帰り客は6万6,317人、10.1%の増で、合計では4万3,787人、3.26%の増であります。

日帰り客の増の要因としましては、紀勢自動車道がすさみ南まで延伸されたことが考えられるとのことでありました。

2点目に、第22回まぐろ祭りが1月30日に開催され、小雨にもかかわらず、マグロー頭づくりや各種料理の振る舞い、販売等で1万3,000人の来場者を迎え、大変なにぎわいを見せたとのことでありました。

そのほか、東海和歌山県人会が2月4日名古屋市で開催、2月11日には東京にて、写真家の平間至氏とギタリストの濱口祐自氏のトークライブを実施し、町のPRを行ったとのこととです。

ほかにも、多種イベントに参加し、観光PRに努めたとのこととであります。

次に、農林水産業の振興についてであります。那智駅交流センター関係では、12月25日より営業を再開し、2月より町内70歳以上の高齢者を対象に福祉入浴券の交付を試行しているとのこととであります。

また、野菜・花卉産地支援事業では、くろしおイチゴ生産組合で高設栽培装置を中里地区で8アール、耐風ハウス、この「耐風」は風に耐えるの耐風でございます。耐風ハウスを中里地区、南大居地区で7アールを、県費、町費合わせて3分の2の補助を受け設置したとのこととあります。

鳥獣害対策につきましては、捕獲実績では、鹿575頭、イノシシ218頭と前年度比大きく増加していることとあります。

さらに、災害復旧事業の進捗説明を受けました。

水産につきましては、1点目に水揚げ成績の月別対比で、前年2月期に比べ、鮮魚マグロについては単価が512円から817円と305円の大幅な増でしたが、漁獲量が2,019トンから1,233トンと786トンの大幅に減少し、2,700万円の減となり、沿岸においては水揚げ量、単価ともに好

調で、3,000万円の増となっております。前年比、累計では、鮮魚、沿岸ともに単価上昇に伴い、鮮魚マグロでは1,700万円、沿岸では1,200万円増となっているとのことであります。

2点目に、町内で1月29日から3月13日まで、さくらびんちょうフェアを開催し、飲食、販売の協力加盟店32店舗が参加し、ピンチョウ料理や刺身の振る舞い、また購入者方には景品抽せん会等を行ったとのことであります。

その他の事項では、農業委員会からの報告で、先日の条例改正による農業委員の選任について、今後の予定について報告を受けて、本委員会を閉じました。

以上で経済常任委員会の報告を終わります。

○議長（中岩和子君） 次に、建設常任委員長より報告を求めます。

2番左近君。

○建設常任委員長（左近 誠君） それでは、建設常任委員会報告を行います。

平成28年3月15日9時30分より、出席者、委員5名と担当課員であります。

先ほど報告させていただきました町道の路線変更について、木戸浦7号線は、天満木戸浦444番地から木戸浦433に変更になりました。

それから、建設課の報告であります、入札関係です。

平成27年12月10日の建設常任委員会以降の案件です。平成27年12月には8件の入札がございまして、主なものには、大谷整備、勝浦駅トイレ、宇久井21号線の側溝とあります。

28年、年を明けまして、1月は4件ありました。主なものは、天満公営住宅塗装であります。それから、荒堀川の改修です。

2月に入りまして2件、朝日側溝15号です。それと太田庄地内の舗装です。

それから、3月は2件、1件は天女川の老朽化した橋の建てかえであります。

それから、災害関係、町発注23年台風12号関係46件、全て3月末で完成予定ということです。井谷1号地すべりについては28年まで延びることとのことです。

県発注の台風12号関係ですが、106件発注のうち104件が完成しております。那智川、太田川につきましては、工事中ということです。

それから、国土交通省発注の平野川以下6件につきましては、第1、第2堤完成しております。それから、鳴子谷川につきましては、第1堰堤の完成を見ております。一番おくれております陰陽川につきましては、第1堰堤施工中です。那智川につきましては、堆積工の調整中ということです。

国交省関係では、近畿自動車道すさみ南インターチェンジから串本間については測量調査中、これには地籍調査も含まれているそうです。それから、串本一市屋間につきましては、20キロの新規事業化を要望中とのことです。

それから、県関係、県道那智山勝浦線歩道整備でございしますが、平成27年度分につきましては用地買収完了しているとのことです。それから、県長井古座線でございしますが、平成27年度用地買収をしたところを工事中とのことです。

空家対策の推進に関する特別措置法ですが、平成27年5月26日より施行されておりますが、

県内では3市7町が措置法に基づいて調査を進めておりますが、本町では、新年度より県の指導を仰ぎながら立ち上げる協議会で進めてまいりますとのことです。

地籍調査事業でございますが、町全体で約4%調査完了とのことです。今後31年かけて、宅地、田、畑、原野等は調査完了予定でございます。

なお、委員より1件要望がございました。災害残土で使っております大谷残土場でございますが、そのあと候補として建設残土地を考えてはどうかという要望がございました。

それから、水道事業でございますが、平成28年度の予定してる工事の報告を受けました。上水道では、天満地内、市野々地内の配水管布設替工事の2件と宇久井取水機能維持のための工事で、事業費は2,833万2,000円との報告を受けました。

簡易水道では、南大居地内の配水管布設替工事の1件で、事業費は425万6,000円との報告を受けました。

簡易水道統合整備事業では、送水施設の浦神中継所、送水ポンプの設置、配水施設の配水管流量計の設置等、給水施設の配水管設置等でございます。

なお、本事業が最終年度であるため、施設周辺の舗装、フェンス等の附帯工事も行い、事業費は5億45万3,000円の報告を受けました。

業務委託では、太田川水系の送水管の老朽化に伴う露出配管の腐食が著しく、早急に整備が必要であるため、送水ルートを含め、基本設計業務を行い、事業費は1,590万円との報告を受けました。また、将来に整備が必要な水道施設管路網の耐震更新化計画等を含め、水道事業全体の見直しを図り、効率的、効果的に事業を進める上での水道事業計画策定業務委託を行うとの報告を受けました。

これで建設常任委員会の報告を終わります。

○議長（中岩和子君） 以上で常任委員会報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 委員会所管事務調査継続調査要求

○議長（中岩和子君） 日程第5、委員会所管事務調査継続調査要求を議題とします。

総務、厚生、経済、建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、その所管事務について引き続き調査研究を行う必要があるため、次の定例会までの継続調査の申し出が議長宛て届いております。

お諮りします。

各委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、各委員長から申し出のとおり、次の定例会まで継続調査することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 閉会中の継続調査要求

○議長（中岩和子君） 日程第6、閉会中の継続調査要求を議題とします。

議会広報編集委員長から、議会広報編集事務について閉会中も引き続き調査を行う必要があるため、次の定例会まで継続の調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

議会広報編集委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、議会広報編集委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることを決定しました。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

#### 日程第7 議員派遣について

○議長（中岩和子君） 日程第7、議員派遣についてを議題とします。

お諮りします。

閉会中の議会で議長及び議員が調査、会議等で必要な出張については議長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、閉会中の議会で議長及び議員が調査、会議等で必要な出張については議長に委任することに決定いたしました。

お諮りします。

本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任することを決定しました。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成28年第1回那智勝浦町議会定例会を閉会します。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

10時50分 閉会

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

○議長（中岩和子君） 第1回の定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

今定例会は、去る3月8日から3月22日までの予定でしたが、議員各位の真剣な御審議、御協力により、本日閉会することができました。まことにありがとうございました。

今議会におきましては、平成27年度一般会計補正予算（第6号）の修正議決があり、議員各位が述べられました一般質問、質疑、新年度予算など、執行に際しましては十分反映されますよう強く要望する次第でございます。

時節はもう春、山桜も咲き始めておりますが、季節の変わり目、議員各位におかれましては健康に十分留意され、ますますの御活躍を御祈念いたしまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。執行機関各位、また議員各位、まことにありがとうございました。

町長寺本君。

○町長（寺本眞一君） 閉会に当たり、御挨拶を申し上げます。

3月8日に開会いたしました第1回定例会におきまして、議員の皆様には、本会議並びに各委員会を通じて慎重な御審議をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

新病院における人工透析治療施設の設置についての請願書が町議会に提出され、本日採択されました。住民を代表する議会の意思、町民の皆様方の考えを示したものと重く受けとめております。

新宮・東牟婁の医療圏域の中で、公立病院として外来透析を続けていくことに将来的な経営不安はありますが、町民の皆様方の思いを強く捉え、私どもができることは何か、再度検討を行い、請願に対する回答を患者さんに早急にお伝えし、新病院建設に対する住民の皆様方の御理解と御協力をお願いしたいと考えます。

さて、おかげをもちまして、平成28年度各会計の予算並びに27年度補正予算を初め上程いたしました議案に熱心な御議論をいただきましたことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

会期中にいただきました御意見等につきましては、十分これを尊重し、よく検討いたしまして、今後の町政運営を行っていきたいと思います。

間もなく平成28年度が始まります。今後も町の課題、問題の解決や地域活性化に向けたさまざまな方向からの地域づくり、また町民の皆様が安心して暮らすことができるまちづくりなどを行い、「着実にわがらで創る笑顔のまち那智勝浦」の実現に向けて全力で邁進してまいりますので、町民の皆様、議員各位の御協力をお願い申し上げます。

開会初日には、春を思わせる暖かい天気から一変、その後は寒さ戻りを思わせる肌寒い日が続いておりましたが、再び春めいた季節になってまいりました。最後になりますが、議員の皆様におかれましては、時節柄健康に十分御留意いただき、引き続き本町の発展のため御活躍いただきますことを御祈念申し上げます。

そして、今議会を最後に仕事を終え退職される江崎消防長、大江福祉課長、玉井住民課長の3名につきましては、長い間行政奉職御苦労さんでございました。今後も本町発展のため、御支援、御協力をお願い申し上げ、また今後の人生において御健勝で御多幸あらんことを御祈念申し上げまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

那智勝浦町議会 議長 中 岩 和 子

那智勝浦町議会副議長 曾 根 和 仁

会議録署名議員 森 本 隆 夫

会議録署名議員 東 信 介